# 大震災と絆の１年を紙面で振り返る

## 2011⇨2012

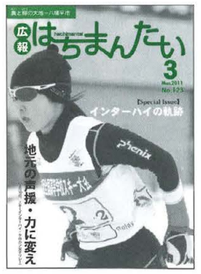
**1,000年に一度と言われる東日本大震災が暗い影を落とした2011年、全国で２万人以上が津波の犠牲となり、福島第一原子力発電所事故では放射能汚染が問題となるなど、国内が大きく揺れる中、震災を機に家族や地域の「絆」が見直された１年でした。また、女子ワールドカップサッカーで日本が優勝。チームの愛称「なでしこジャパン」が流行語大賞に選ばれ、明るい話題を提供しました。ここでは、広報はちまんたいに掲載された記事を通じて、2011年を振り返ります。**

**1月**

▽30日～2月6日　第7回冬季アジア大会（カザフスタン）女子バイアスロンリレーで、大和田いつか選手（八幡平出身、陸自冬戦教）が銅メダルを獲得。

**2月**

▽6日～10日　第60回全国高等学校スキー大会（スキーインターハイ）を開催。参加者は約1400人で、本市出身選手は15人。女子クロスカントリーリレーで齊藤由美佳選手（秋田・花輪高3年、田山中卒）が3位に入賞しました。




⇘ルが完成。総事業費は約2億3000万円で、施設管理は市が行います。

**3月**

▽11日　午後2時46分頃、マグニチュード9・0の地震発生。太平洋沿岸を中心に甚大な被害（4月1日、東日本大震災と命名）。市は、支援物資提供や職員派遣などの支援活動を実施しています。

▽田山スキー場に県営スキージャンプ台スモールヒ⇙

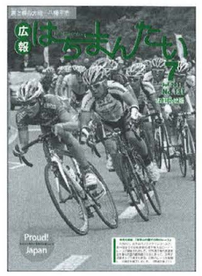
▽安代町史下巻発行。旧安⇖代町の町制施行50周年記念として平成11年度から編さんを進めてきたものです。

**4月**

▽1日　西根・松尾地区でコミュニティバス試験運行を開始。西根地区4路線、松尾地区2路線を、1日2～6便運行しています。

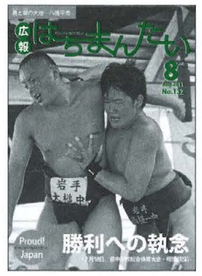
**6月**

▽25・26日　第14回全日本自転車競技選手権大会ロード・レースを本市で初開催。世界選手権代表選考を兼ねた国内最高峰の大会で、レースはツール・ド・フランスで日本人初完走を果たした別府史之選手と新城幸也選手の争いとなり、別府選手が新城選手の追撃をかわして優勝しました。なお、ロンドンオリンピック代表選考会を兼ねたことしの大会も4月28、29の両日、八幡平市で開催されることが決まっています。




**7月**

▽18日　県中学校総合体育大会相撲競技（盛岡市・県営武道館相撲場）で市内選手活躍。松浦智哉選手（西根第一中3年）＝写真＝が個人3年生と全国大会代表決定戦で優勝。同校は団体1部、同2部、総合、個人2年生（小林蓮選手）も制したほか、個人1年生では、吉田皇選手（西根中）が優勝しました。




▽24日　第20回岩手山焼走りマラソン全国大会を開催。過去最多の2008人が参加し、健脚を競いました。

**8月**

▽1～4日　全国高等学校総合体育大会（北東北インターハイ）レスリング競技を開催。宮古市で開催される予定でしたが、東日本大震災の影響で、急きょ八幡平市に会場が変更になりました。開催決定からわずか3カ月間という短い準備期間でしたが、事故やトラブルもなく大会を運営することができました。

▽26日　長野県白馬村で開催されたFISサマーグランプリジャンプ大会で、小林潤志郎選手（東海大2年、松尾中卒）が8位に入賞。この大会をはじめとする活躍により、小林選手はこの冬、日本代表としてFISワールドカップジャンプに参戦しています。（関連記事6、7ページ）。

▽28日　第61回県サッカー選手権大会で、アンソメット岩手八幡平が準優勝。天皇杯全日本サッカー選手権大会の県代表を決めるこの大会で、アンソメット岩手八幡平（丸山富洋代表兼監督）は、創設3年目で過去最高の成績を収めました。

**10月**

▽1日　国保西根病院内科医長に、瀬川文香医師が着任（写真）。

▽8日　明治百年記念公園に小水力発電所完成。総工費は5670万円で、冬場を除く7カ月間稼働。直径3・6㍍の水車からは、約14世帯の電力に相当する5万㌔㍗時が生み出されます。

**11月**

▽25日　新庁舎の建設が決定。市議会臨時会で、市役所の位置を「野駄第21地割170番地」に変更する条例案が可決されました。新庁舎は、26年秋の完成を目指します。（関連記事10、11ページ）

**12月**

▽17日　松尾コミュニティセンターが落成。（関連記事3ページ）

▽25～28日　JOCジュニアオリンピックカップ第25回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に伊藤なのは選手（西根中3年）が出場。